

2025年度 授業コード: SDJ06400

授業科目	日本国憲法(オンデマンド)				実務家教員担当科目	-	
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	木村 茂喜						
授業概要	<p>日本国憲法が施行されて 80 年近く経過したが、この間の社会の変化に応じて、従来の仕組みや発想にとらわれてはうまく解決できない問題も数多く発生している。これらの諸問題に対して、憲法上の規範構造の中でどのように関連づけ、またどのような解答を出していくか考えることは、今後の国家と人間との関わりについて考える上での意義が大きいと考える。</p> <p>本講では、三権を中心とした統治機構、基本的人権に関する諸事項、平和主義および憲法改正に関する諸事項について講義を行う。その際、理解の一助として、学説のみならず、講義の各テーマに即した裁判例についても取り上げる。</p> <p>※福祉学科の学生に対して</p> <p>本講で取り上げる内容は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験共通科目「権利擁護を支える法制度」（3年後期）の内容をより深く理解するために必要であることから、教職を目指す学生のみならず、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の受験を検討している学生の履修を強く勧める。</p>						
授業形態	オンデマンド授業			授業方法	・Youtube 動画による講義、Google Form を使用した確認テスト		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法で国民に保障されている基本的人権についてある程度説明できる。(DP1-1) ・日本国憲法に規定されている統治機構についてある程度説明できる。(DP1-1) ・法の支配の下での国家と人間との関係の基本構造についてある程度認識できる。(DP1-1) ・(福祉学科のみ)「権利擁護を支える法制度」（3年後期）の内容をより深く理解するために必要な知識をある程度身につけている。(DP1-1) 						
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法で国民に保障されている基本的人権について正確に説明できる。(DP1-1) ・日本国憲法に規定されている統治機構について正確に説明できる。(DP1-1) ・法の支配の下での国家と人間との関係の基本構造について正確に認識できる。(DP1-1) ・(福祉学科のみ)「権利擁護を支える法制度」（3年後期）の内容をより深く理解するために必要な知識を身につけている。(DP1-1) 						
評価方法・評価割合							
評価方法		評価割合 (数値)			備考		
試験							
小テスト		30					
レポート		50					
発表 (口頭、プレゼンテーション)							
レポート外の提出物							
その他		20			学生より提出されたコメントの記述内容に基づき評価する。		
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング							

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
予習：レジュメ・テキスト該当部分に目を通す 復習：テキスト該当部分・レジュメの見直し									4
授業計画									
第1回	テーマ：イントロダクション、国民主権 講義の進め方、日本国憲法の基本原理、国民主権について解説する。								
第2回	テーマ：国会と立法権 立法機関としての国会の地位、選挙制度、国会の活動について解説する。								
第3回	テーマ：天皇、内閣と行政権 憲法上の天皇の地位、行政機関としての内閣の地位、内閣の組織と活動、議院内閣制について解説する。								
第4回	テーマ：裁判所と司法権 司法権の意義、司法機関としての裁判所の組織と活動、裁判員制度、違憲審査制について解説する。								
第5回	テーマ：個人の尊重と幸福追求権 基本的人権、個人の尊重と幸福追求権、子ども的人権、外国人の人権について解説する。								
第6回	テーマ：プライバシー・自己決定権 新しい人権、プライバシーの権利と個人情報保護、自己決定権について解説する。								
第7回	テーマ：法の下での平等 法の下での平等、差別に当たるか否かの判断基準について解説する。								
第8回	テーマ：信教の自由 信教の自由の内容とその限界、政教分離の原則について解説する。								
第9回	テーマ：表現の自由 表現の自由の意義とその内容、表現の自由の保障とその限界について解説する。								
第10回	テーマ：営業の自由 経済的自由権の内容、営業の自由とその限界、規制緩和について解説する。								
第11回	テーマ：生存権 社会権の内容、生存権とその法的性格について解説する。								
第12回	テーマ：教育を受ける権利 教育を受ける権利の意義とその内容、教育権（教育内容決定権）と教師の教育の自由について解説する。								
第13回	テーマ：死刑制度、地方自治 死刑制度の憲法適合性、地方自治の本旨、地方公共団体とその機関、住民の権利と住民投票について解説する。								
第14回	テーマ：平和主義 平和的生存権、憲法9条の解釈、自衛隊・日米安保条約・集団的自衛権とそれらの憲法適合性について解説する。								
第15回	テーマ：憲法改正								

	日本国憲法の誕生、憲法改正の主な論点、憲法改正手続について解説する。
テキスト	第1回目の講義時に、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	確認テストは提出後すぐに解答と解説が返却される。 コメントに書かれた質問、意見については、次回の講義の冒頭で回答や補足説明を行う。
課題に対するフィードバックの方法	講義終了時に次回の講義で扱う教科書の範囲を示すので、次回の講義までに各自目を通しておくことが望ましい。なお、普段から新聞・テレビ等に取り上げられる、本講のテーマに関連する最新の諸情報を入手しておくことが望ましい。
学生へのメッセージ・コメント	